

安芸税務署長賞

「税について」

室戸市立佐喜浜中学校 三年

森岡 茜

私は、今まで税についてあまり意識をしたことがありませんでした。税と言われてすぐに思い浮かぶのは、いつもお店でものを買った時に払う消費税ぐらいです。私にとっての消費税は、払うのが当たり前というイメージで、同様に他の税についてもそれが払われるのは当然のことだと思っていました。

ある日、テレビを見ていると、『差し押さえ』のニュースが流れていました。「ああ、またか。」と私はそれをボーッと見ていました。『差し押さえ』という言葉が最近本当によく耳にします。私の両親が公務員で、父が税金の滞納のことなどを取り扱う課にいたので余計に感じているのかもしれませんが。それだけ払わなければいけないお金を払ってない人が増えているのかなと考えました。払わなければいけないお金と言えば、買い物をした時に使うお金と国民の義務である税金の二つが真っ先に浮かびます。何故払わなければいけない税金を滞納してしまうのだろうと疑問に思い、私は母に聞いてみました。母は、

「皆自分のお金を出したがるんきやろ。」

と答えてくれました。

「何で自分のお金で公務員を養っちゃらないかんがと思いううがあよ。あたしら公務員は税金から給料もらいううき払って欲しいとは思うちゅうがやけどね。あたしらだってその給料から税金払いいうのに。茜だって買い物する時品物が高かったら、ああお金出したいくないな、って渋ってやめることあるやろ。大体それと一緒よね。」

「えっ。でもそれ買い物する時のはガマンって言うがやないが。ちょっと違うやろ。出さないかんのに出さんっておかしい。」

苦笑いをしながら言う母に私は反論しました。確かにお金を出すのを渋る所は似ていますが、税金は出さなくてもいいものではありません。

「その区別が付いてないがよ。自分はそんなに公共施設を使っていないから払う必要がない、払いたくないと思ってしまうんやろ。」

私は少し腹が立ちました。税金は公共施設の為だけに使われているんじゃない、とその人達に教えてあげたくなりました。税金があるから、皆が安心して過ごせる町になっているし、困った時には頼ることのできる機関が作られているのです。

こうして考えてみると、税金は私達の生活にとっても必要なのだということがよく分かりました。ただ払っているだけではなく、ちゃんと私達は使っていたのだということにも気付かされました。税金滞納などを解決する為にはできるこ

とは私にはないので、私は私が払うべき税金をしっかり払って自分なりに皆にはたらきかけていきたいと思います。